（様式第１号）

みなと SDGs パートナー　登録申請書

2023 年 3 月 2 日

国土交通省港湾局長　殿

みなとＳＤＧｓパートナー登録制度実施要綱第４条第１項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

１．概要

企業・団体名	内外日東株式会社
所在地	〒140-0002　東京都品川区東品川１丁目 38 番 8 号
代表者役職・氏名	代表取締役社長　飯塚利信
担当者連絡先	電　話：０３－５４６０－９７００
	メール：kosuke_kijima@naigainitto.com
ウェブサイトＵＲＬ	http://nnt.co.jp

２．港湾関係企業等としての事業の概要

1950 年設立の総合物流会社。港湾運送事業、通関業、倉庫業（危険品貨物含む）、輸出梱包業を主力とする。そして、NVO（海上混載）、航空貨物輸送など国際複合輸送サービスを提供している。
海外には 11 社の法人を設立。中国、東南アジア、欧米の各法人では本社システム部門が開発した WMS にてロジスティクス事業を展開し、グローバルなサプライチェーンを提供している。

３側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 ✓社会 □経済	健康経営	・定期健康診断受診率 100% ・二次健診受診率 100% ・ストレスチェック回答率 100%
□環境 ✓社会 □経済	コンプライアンス経営	・法令違反：ゼロ ・AEO 通関業者認定の継続
✓環境 ✓社会 ✓経済	ODA 案件の輸送案件を受注し物流面において開発途上国の経済発展を支援する	・年間案件獲得件数：2 件以上
✓環境 □社会 □経済	・人財登用の多様性の推進 ・グリーン経営認証取得の継続	・人財登用に際し、公平に登用する ・クリーンアップ及び安全衛生パトロールの継続実施
□環境 ✓社会 □経済	社内・社外研修を実施し、社員の能力開発実践力及び組織力の向上、ハラスメントのない企業風土の維持を図る。	・社内・社外研修の実施 現状：年 2 回（継続） ・ハラスメント研修 現状：年 1 回（継続）
✓環境 ✓社会 ✓経済	自然災害や感染症に対する事業継続計画（BCP）を整備して、従業員の安全を確保する。	危機管理委員会を常設し、毎月定例会議を開催し安全・保護と危機意識の向上を図る。

（次項へ続く）

(様式第２号)

企業･団体名（　内外日東株式会社　）

SDGs達成に向けた具体的な取組

	カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 （公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	･雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、その運用に経営陣が積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	･「ハラスメント防止規程」を設け、管理部長を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	･勤怠管理システムにて時間外･休日労働を把握している。 ･長時間労働是正のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行っている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	･ヒヤリハット運動促進と情報や報告の全社共有。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	･ストレスチェックの実施し社員ケアに取り組んでいる。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる						5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	･階層別研修や新入社員研修を実施。 ･国際複合輸送士など外部講座の参加 ･永年勤続や功績者への社内表彰制度を導入。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	･就業規則、契約書にもとづく公正な対応。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	･定期健康診断を実施。 ･インフルエンザワクチン接種費用補助。			3					8									
11	環境	【３Ｒの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる												11.6	12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3						13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4	13.3				

	カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 （公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	･グリーン経営認証の取得･更新。(2008年10月30日登録)			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	･AEO認定通関業者として貨物のセキュリティ管理と法令遵守体制のもとで、業務を適正かつ円滑に遂行しサービスの安全性を確保している。			3.9									12.4					
22	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	･AEO統括室を設置 ･AEO認定通関業者としての認定維持を図り提供するサービスの品質向上を図るため、内部監査を実施している。　･AEOニュースを社内発信している。									9								
23	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	製品・サービス	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	･輸出入者の評価、不審の気づき、社会悪に結びつく不正など税関の取締り強化に積極的に協力している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	･日本海貨同業会、京浜海貨同業会、港運協会、通関業会などに所属し、各活動に積極的に参加している。　･各地域に拠点を置く同業他社との関係を構築している。				4					9		11	12		14	15		17
26	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる					4							11			14	15		17
27	社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

	カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 （公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
28	組織体制	【内部管理体制】 ・SDGｓの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	･社長が適時、経営理念や経営目標を社員説明し共有している。 ･品質方針･品質目標としてSDGsへの取組を全社員に周知し、定例会議の場で取組内容･達成度ついて情報共有をする。								8	9								17
29		【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	･社長を委員長とするコンプライアンス委員会の設置 ･コンプライアンス･AEO研修で社員教育を実施。																16	
30		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	･コンプライアンス委員会、AEO統括課を設置し、社員の法令遵守の意識向上に取り組んでいる。																16	
31		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																	16	17
32		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	16	
33		【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
34		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	･危機管理委員会を設置し、BCPの策定や緊急時の対応方法を策定している。 ･防災訓練の実施 ･防災備蓄品を用意して災害に対応できるようにしている。									9		11		13.1			16	
35		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
国際社会の平和と安全、繁栄のため開発途上国の安定と発展に協力する。	ODA案件の適正かつ安全輸送を実現する。	1.5							8.8 8.9	9.1 9.4	10.2	11.1 11.5						17.9 17.10 17.17

（様式第４号）

令和６年５月３０日

ＳＤＧｓ達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長　殿

所　在　地：	〒140-0002　東京都品川区東品川３丁目６番５号
名　　称：	内外日東株式会社
代　表　者：	飯塚 利信
登録年月日：	令和５年３月29日

みなとＳＤＧｓパートナー登録制度実施要綱第７条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

３側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 □経済	健康経営	・定期健康診断受診率 100% ・二次検診受診率 100% ・ストレスチェック回答率 100%	・定期健康診断受診率 97% ・二次検診受診率 62% ・ストレスチェック回答率 67%
□環境 ✓社会 □経済	コンプライアンス経営	・法令違反：ゼロ ・AEO 通関業者認定の継続	・法令違反：0 件 ・AEO 全体研修を実施した。
✓環境 ✓社会 ✓経済	ODA 案件の輸送案件を受注し物流面において開発途上国の経済発展を支援する	・年間案件獲得件数：2 件以上	・ネパール向けナグドゥンガトンネル建設事業/1 件
✓環境 □社会 □経済	・人財登用の多様性の推進 ・グリーン経営認証取得の継続	・人財登用に際し、公平に登用する ・クリーンアップ及び安全衛生パトロールの継続実施	・人財登用：経営ビジョンの人財育成の目標下、人事制度規定に基づく人事評価による人事を行った。 ・クリーンアップ及び安全パトロールは毎月実施した。

３側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 □経済	社内・社外研修を実施し、社員の能力開発実践力及び組織力の向上、ハラスメントのない企業風土の維持を図る。	・社内・社外研修の実施 現状：年 2 回（継続） ・ハラスメント研修 現状：年 1 回（継続）	・社内・社外研修、以下を実施 日本倉庫協会主催 e ラーニング講座(ロジスティクスコース、物流センターの機能と管理コース、改善基礎編・応用編、貿易実務基礎コース) 神奈川倉庫協会主催　物流 ABC 実務専門研修Ⅱ（コスト管理、作業分析）、プロジェクトマネジメント入門研修 JIFFA 主催　国際複合輸送士資格認定講座 役員・部長合同研修 会計知識習得研修（初級編・中級編） キャリアデザイン研修 新入社員研修 AEO 全体研修 ・ハラスメント研修： 新入社員研修の中で管理部長が講義
✓環境 ✓社会 ✓経済	自然災害や感染症に対する事業継続計画（BCP）を整備して、従業員の安全お確保する。	危機管理委員会を常設し、毎月定例会議を開催し安全・保護と危機意識の向上を図る。	・2 ヵ月に 1 回、定例会議を実施。開催されない月は事務局で集まりミーティング。 ・社内で緊急連絡網を作成 ・DX を使った安否確認システムを試験運用実施。

（様式第４号）

令和７年４月２日

ＳＤＧｓ達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長　殿

所　在　地：	〒140-0002　東京都品川区東品川３丁目６番５号
名　　称：	内外日東株式会社
代　表　者：	飯塚 利信
登録年月日：	令和５年３月29日

みなとＳＤＧｓパートナー登録制度実施要綱第７条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

３側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 □経済	健康経営	・定期健康診断受診率 100% ・二次検診受診率 100% ・ストレスチェック回答率 100%	・定期健康診断受診率 100% ・二次検診受診率 75% ・ストレスチェック回答率 70%
□環境 ✓社会 □経済	コンプライアンス経営	・法令違反：ゼロ ・AEO 通関業者認定の継続	・法令違反：0 件 ・AEO 全体研修を実施した。
✓環境 ✓社会 ✓経済	ODA 案件の輸送案件を受注し物流面において開発途上国の経済発展を支援する	・年間案件獲得件数：2 件以上	・0 件
✓環境 □社会 □経済	・人財登用の多様性の推進 ・グリーン経営認証取得の継続	・人財登用に際し、公平に登用する ・クリーンアップ及び安全衛生パトロールの継続実施	・人財登用：経営ビジョンの人財育成の目標下、人事制度規定に基づく人事評価による人事を行った。 ・クリーンアップ及び安全パトロールは毎月実施した。

３側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 □経済	社内・社外研修を実施し、社員の能力開発実践力及び組織力の向上、ハラスメントのない企業風土の維持を図る。	・社内･社外研修の実施 現状：年 2 回（継続） ・ハラスメント研修 現状：年 1 回（継続）	・社内外研修、以下を実施 社外：JIFFA 主催　国際複合輸送士資格認定講座 社内：役員・部長合同研修 会計知識習得研修（初級編・中級編） キャリアデザイン研修 新入社員研修 AEO 全体研修 ・ハラスメント研修： 新入社員研修の中で管理部長が講義
✓環境 ✓社会 ✓経済	自然災害や感染症に対する事業継続計画（BCP）を整備して、従業員の安全お確保する。	危機管理委員会を常設し、毎月定例会議を開催し安全・保護と危機意識の向上を図る。	・2 ヵ月に 1 回、定例会議を実施。開催されない月は事務局で集まりミーティング。 ・社内で緊急連絡網を作成 ・DX を使った安否確認システムを試験運用実施。